

労働者の
労働者による
労働者の為の
JMIU

あゆみ

全日本金属情報機器
労働組合 JMIU
IBM支部藤沢分会
Tel:Fax 0466-44-6337

日立GSTと春闘賃上げ要求で団交 小田原と一本化元年で昇給発表が遅れる

組合は2月3日、日立GSTと藤沢産業センターで団交を行い主に賃上げについて回答を求めました。今回の春闘は新しいHGSTになってからの回答になるが、アンケートを集めて3万円の要求にした。過去一年の会社の決算内容や今後の見通しはどうか。

組：今回の春闘は新しいHGSTになってからの回答になるが、アンケートを集めて3万円の要求にした。過去一年の会社の決算内容や今後の見通しはどうか。
会：決算はまだ出ていない。本社(US)で2月4日ぐらいいまるとまる。

組：宮崎社長の年頭の挨拶で、3Qで黒字、下半期が黒字になるといっているが、
会：通期では赤字だ。
組：日本は日本法人の経営状態をみて賃上げを決めると思うが。
会：そうです。日本法人として一本化して発表する。

組：1社2制度で一本化できるのか。
会：日立は6月1日昇給なので、回答が遅れる可能性もある。就業規則の変更

更はないが、「日立GSTの社員の皆さん」へという形で発表したいと考えている。配分の不公平はないようにする。

組：IBMからの承継は終わるか。
会：制度は承継しているが、昇給金額は承継していない。2月24日までに発表したい。

組：小田原の6月昇給の人にも発表するのか。
会：昇給金額や平均金額までは発表できないが、スケジュールを発表することに。

組：3月1日付昇給で、2月末に賃上げの発表がないのは問題だ。
会：2月20日までは平均を含め金額を発表できないが、3月15日までに回答したい。

組：小田原の日立労組は賃金構造の維持が目的で、賃上げの要求はしないと
会：藤沢側がいくら昇給するか発

表しないのはおかしい。

組：小田原の賃金体系を見せてもらわないと回答の内容を検討できない。
会：回答は1本だが、適用は別になる。6月の小田原の昇給を見ながら、IBM側を決める。

組：小田原の昇給テーブルを見たい。
会：就業規則を見れば分かる。

組：小田原の賃金体系を見せてもらわないと回答の内容を検討できない。
会：回答は1本だが、適用は別になる。6月の小田原の昇給を見ながら、IBM側を決める。

組：小田原の昇給テーブルを見たい。
会：就業規則を見れば分かる。

組：小田原の賃金体系を見せてもらわないと回答の内容を検討できない。
会：回答は1本だが、適用は別になる。6月の小田原の昇給を見ながら、IBM側を決める。

組：小田原の賃金体系を見せてもらわないと回答の内容を検討できない。
会：回答は1本だが、適用は別になる。6月の小田原の昇給を見ながら、IBM側を決める。

青色LED判決に異議を唱える 北城発言に批判の嵐

青色ダイオード(LED)を開発した研究者に対して、企業が200億円の対価を払うべきだという東京地裁の一审判决に対し、北城悟太郎・経済同友会代表幹事は3日の記者会見で「給与保証されているんだから、せいぜい1000万円でもいい」と東京地裁判決を批判した。この北城発言に対しインターネットの掲示板に批判の嵐が吹き荒れている。

投稿より
北城の年収こそ、せいぜい1000万円です。十分だろう。

● この程度の認識の奴が経営の上層部にいるのかと思うと暗然になる。
● このおっさんは何も生み出してないからクビでいい。
● 日本IBMがいかにも技術を軽視しているかがはつきりした。
● 日本IBMの人達はこれを言質に、雇用の保証を強行に求めてほしい。
● 仕事も給料も全然保証されていないから中村氏は米国へ行った訳で、このオッサンはアホか？
● これが日本IBM流の成果主義ということだろう。
● 成果主義を標榜しながら、実際に大発明をした人に対しての発言、皆さんはどう思われますか。

ヘッドライト

▼年金・ポイント制導入へ
政府は08年4月から個人の保険料納付実績を点数化し、将来の年金見込み額を定期的に通知する「ポイント制」の導入を検討している。私もそうだが、「いくら年金がもらえるのか分からない」と不満を持っている現役世代に保険料を納め続けることで年金受給額が増えていくことを実感してもらおうことが狙いようだ▼制度スタート時の通知対象は40歳以上など一定年齢以上になる見通しだが厚生労働省は将来的には厚生、国民両年金加入者全員(約7000万人)への通知を目指している。ただ、この制度で最大の課題となるのが若い世代の人の将来の収入をどの程度に見込むかで、25歳で月収25万円の人が、45歳で50万円になっているのか、あるいは30万円止まりなのかで獲得予想ポイントが大きく違ってくる点だ。その他、少子化が予想以上に進むことなどによっても影響があるようだ▼さて、皆さんはこの制度導入をどのように思われますか？いずれにしても我々一般庶民は将来の生活に対する不安をもち続けることに変わりはないのかも。

